

2021年1月13日

柏市長 秋山浩保様

日本共産党柏市議会議員団

新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ（第11次）

政府により緊急事態宣言が発出され、柏市もその対象となっています。本市における新規陽性者は13日現在1300名に迫り、あらたに高齢者施設においてもクラスターが確認されるなど、きわめて憂慮すべき事態です。感染の爆発的拡大を抑止するために、以下の諸点での緊急の対応を強く求めます。

1. 無症状者による感染拡大、医療や介護施設におけるクラスター発生、保育士の陽性者報告の状況に鑑み、柏市として、医療機関、介護・福祉施設、保育園・幼稚園、学校、こどもルームなど、クラスターが発生すれば多大な影響が出る施設の職員に、定期的な「社会的検査」を行い、感染拡大を事前に防いでいくこと。
2. 基礎疾患のある市民、65歳以上の高齢者で希望する人には、無料でPCR検査を行うこと。
3. 保健師やケースワーカー、消防職員など対面しての業務が欠かせない市職員に対して定期的なPCR検査を行うこと。
4. 「柏市中小企業経営雇用支援金」の周知徹底と、期間延長、要件の緩和を検討すること。
5. 新型コロナウイルス、インフルエンザの検査を受けられる市内医療機関をすべてホームページで公表できるようにすること。また、自費で検査できる医療機関についても公表できるようにすること。
6. 近隣センター等市内公共施設のキャンセル料については、流山市のように当分の間免除すること。また、利用料については定員を半分に制限している期間については半額とすること。
7. 千葉県内においても感染者が増え続け、自宅待機せざるを得ない方が増えています。この間、松戸市内のホテルの契約終了、市川市内のホテルも1月31日に契約が終了します。このような中、船橋市が1月15日より独自に市内ホテルを全館一括借り上げすると報道されました。柏市においても、療養ホテルを確保するよう求めます。